

第2回学校運営協議会「R2前期学校評価アンケート」の分析・方向性

京都市立桃陵中学校

<前年度との比較による分析>

1) 結果 生徒I-③「あなたは、家庭で毎日の予習や復習に努力していると思いますか。」

保護者I-③、教職員I-③が、三者とも昨年度より**大きく上がっている**。

○分析 →コロナ禍で家庭学習をする機会が増えましたが、学校が再開した後も家庭学習が習慣化している傾向が見られます。

2) 結果 保護者I-⑩「お子さんと、一緒に健康について考える機会がもてていると思いますか。」

教職員I-⑩が、二者とも昨年度よりも**大きく上がっている**。

○分析 →大人は、家庭でも学校でもコロナ禍で“健康”について考える機会が増えましたが、生徒は増えない傾向が見られます。

3) 結果 生徒I-⑯「あなたは、その場にふさわしい言葉づかいができていますか。」

生徒I-⑯ 「あなたは、人を思いやる言動がとれていると思いますか。」が、二つとも昨年度より**大きく下がっている**。

○分析 →本校では、「支え・励まし・高め合う 桃陵中学生」を目指す生徒像としています。この生徒像の実現のため、学校行事など教育活動が、人権感覚を高め規範意識の向上を図る取り組みになっているかどうか、再点検してよりよいものになるようにしていきます。

<今年度変更した項目とその分析>

1) 生徒・保護者・教職員アンケートで、I-⑬「あなたは、積極的に家族や地域のお手伝いをするなど、家庭や地域の活動に貢献していると思いますか。」をI-⑭「あなたは、積極的に家族のお手伝いをするなど、家庭の活動に貢献していると思いますか。」とI-⑮「あなたは、積極的に地域のお手伝いをするなど、地域の活動に貢献していると思いますか。」と“家族や地域”を“家族”と“地域”に、項目を二つに分けて回答するように**変更しました**。

●結果 生徒・保護者・教職員アンケート3種類とも、⑬と⑭の2項目を比較すると、⑬「家庭」の数値が**高く**、⑮「地域」の数値が**低い**。

○分析 →コロナ禍の中、家庭生活では積極的に取り組み貢献したが、地域行事そのもののがほとんどなかった。今後は新型コロナウィルス感染症対策をしっかり行い、生徒が地域行事に積極的に参加できるようにしていきたい。

2) 今年度の新学習指導要領により『特別の教科 道徳』が改編されたため、生徒・保護者・教職員アンケートで、I-⑰「あなたは、道徳の授業で考えたことなどが生活に役立っていると思いますか。」を**追加しました**。

●結果 生徒 ①よくできている 24% ②大体できている 51% ③あまりできていない 13%
④できていない 5% ⑤どちらでもない 7%

保護者 ①15% ②64% ③12% ④1% ⑤9% 教職員 ①7% ②90% ③3% ④0% ⑤0%

○分析 →「特別の教科 道徳」が改編され、道徳の評価も本人・保護者へ学期末の「通知表」で知らせるこ**と**になっています。来年度以降、この項目が少しずつよい傾向になるように取り組んでいきます。

<自由記述>

- ◎先生が優しくて面白い。雰囲気がよい。和やか。親に丁寧。 →継続します。
- 中校舎のトイレが汚いので… →10月3日より、中校舎1～3階トイレ改修工事を開始しました。
- 休校などをメールで知らせて欲しい。 →10月1日より、PTA配信メールを開始しました。
- 校則を改善して欲しい。 →「くつの色の選択の幅」について生徒会で検討し、改正の方向です。
- △校舎が古く、窓ガラスもガタガタするところがある。 →今後の課題です。計画的に修繕していきます。

<まとめ>

1. 桃陵中学校の令和2年度前期「学校評価アンケート」は、コロナ禍であること強く印象づける結果となりました。家庭学習については改善も見られ、学校が再開してからも習慣化できているようです。今後は、GIGAスクール構想の下、生徒にPC（タブレット）1台となっていきます。その環境をうまく利用して、生徒にとってプラスしていく準備をしています。
2. 今年度から「特別の教科 道徳」として展開していますが、年度末には「評価」をします。さらに令和3年度からは「観点別評価」が、「4 観点」から「3 観点」に変わり、その「評価」の中身も大きく変化します。後期にしっかりと準備していき、来年度に備えたいと考えています。また規範意識の低い部分については、日頃の教育活動の中で生徒に寄り添いながら示し、様々な機会を見つけて道徳教育を充実させ、人権学習を通じて人権意識を高めていきます。
3. 保護者や教職員など大人は自分や家族の“健康”を考える機会となりましたが、生徒にはその傾向はなく、今後とも自分の健康を大切にする生徒になるように、日頃の健康教育など具体的に取り組んでいきたいと思います。
4. コロナ禍でも地域の方々やPTAの方々の活動は、減るどころか新型コロナウィルス感染症対策のため、日々の努力は増えているのが現状です。その努力の姿を「学校だより」「PTA広報誌」「地生連の掲示板」をはじめ、あらゆる方法を使って広めていきたいと考えています。
5. 「教職員の働き方改革」や「新しい生活様式」などコロナ関連の項目も必要

生徒・保護者・教職員・地域の方々の要望も取り入れ、桃陵中学校も少しづつ変化していきます。その変化に対しても意見をいただきながら前を向いて進んでいこうと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。